

手術ケアセンターって何ですか？

もし手術することが決まった時、みなさんはどんなことを不安に感じるでしょうか。手術がうまくいくだろうか？手術の後、傷は痛むだろうか？何事もなく回復して無事に退院できるだろうか？仕事や普段の生活にきちんと戻れるだろうか？など様々な不安が頭をよぎることでしょう。

手術ケアセンターは2020年1月の新外来棟オープンに合わせて、新外来棟1Jサポートエリア内に新しく設けられました。手術ケアセンターでは手術することが決まった患者さんひとりひとりに担当スタッフが付き、手術が決まった時点から手術前の身体の状態を管理し、患者さんが安心して手術に臨めるようにします。そして、退院までの間は手術後の痛みやリハビリテーションを含むトータルケアをチームによって提供できるようにします。

近年、高齢化は進み生活習慣病を持つ患者さんは増加しています。そのため手術中や手術後の合併症も増加しています。多くの海外データでは手術前の初期の取り組み次第で手術結果が改善されることがわかっています。手術中や手術後の合併症を起こさないためにはあらかじめ手術までの心の準備や体調管理を行うことが必要です。例えば、ご入院早期からの食事指導により患者さんの栄養状態を改善させ、また呼吸

のリハビリ、禁煙指導、口腔ケアを開始することで手術後の合併症を予防します。これまで気づかれなかった病気（高血圧、糖尿病、腎機能障害、狭心症など）を見つけ、手術までの期間に万全な状態にして手術に備えます。さらに、普段服用されている薬剤を確認し、必要があれば適切な容量

に調整します。さらに、患者さんご自身に病気や手術に関する知識を持っていただくことで手術後の身体の状態をイメージできるようにし、離床や回復をスムーズにします。一方、アレルギーや患者さんの背景など各々に特別のケアが必要な場合は、スタッフの間で情報の共有が重要となってきます。センターでは患者さんの情報を一括することにより、患者さんに関わるすべてのスタッフがいつでも情報を共有することができますので、患者さんはあちこちの部署で同じことを話す必要がなくなります。

現在は全手術件数の20%程度がこの手術ケアセンターで運用されていますが、将来的にはすべての手術予定患者さ

手術ケアセンタースタッフ紹介

専門 手術麻酔・術後疼痛管理（麻酔科教授）

センター長
こんどう いちろう
近藤 一郎

出身大学(卒年) 東京慈恵会医科大学（1992年卒）

出身地 大阪府

趣味 焼肉（ホルモン）、温泉

メッセージ 手術を全力でサポートします。私たちにおまかせください！



専門 看護管理（看護師長）

はやし ほみ
林 由美

出身大学(卒年) 大阪医科大学（1992年卒）

出身地 大阪府

趣味 書道、ドラマ鑑賞

メッセージ 安心して手術が受けられるようチーム全員でサポートさせていただきます！



専門 看護師 手術室勤務13年 感染対策部勤務 2年

みかみ ちひろ
三上 千博

出身校(卒年) 水戸赤十字看護専門学校（2005年卒）

出身地 茨城

趣味 ランニング、秘湯の旅など

メッセージ 患者さんの思いに寄り添った手術前面談を心掛けております。



んのケアを目指しています。多職種に渡るチームワークこそが慈恵大学の一番の持ち味です。「病気を診ずして病人を診よ」という建学の精神に基づいた医療がまさに実現されているのです。我々はこれから手術を受ける患者さんに快適で安全、安心な環境を提供していきますので、よろしくお願いします。

専門 管理栄養士（周術期栄養管理・栄養サポートチーム医療）

ふくし あさこ
富士 朝子

出身大学(卒年) 日本女子大学（1999年卒）

出身地 千葉

趣味 散歩、旅行、音楽・映画・スポーツetc.

メッセージ より良い生活の一助となるように、患者さん参加型チームで手術前後の栄養管理を応援します。



所属 業務課 医師事務支援室

ささき けいこ
佐々木 景子

出身校 東京医療秘書福祉専門学校

出身地 東京

趣味 海外旅行、散歩

メッセージ 事務員もチーム医療の一員として、他職種と協力しながらサポートいたします。



所属 業務課 医師事務支援室

すわ まなみ
諏訪 愛実

出身校 東京医療秘書福祉専門学校

出身地 埼玉

趣味 音楽鑑賞・ディズニー

メッセージ チーム医療の一員としてサポートしていきます。



すこやか インフォメーション

慈恵大学病院だより



特集1

集中治療室ってどんなところ？

特集2

手術ケアセンターって何ですか？

診療科別医師紹介
集中治療部

Information
教えて！臨床工学部



東京慈恵会医科大学附属病院

〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18

TEL 03-3433-1111(代)

URL <https://www.hosp.jikei.ac.jp>

集中治療室

ってどんなところ？

集中治療室は英語でIntensive Care Unit (インテンシブ・ケア・ユニット) と言い、略してICU (アイ・シー・ユー) と呼ばれます。ICUは、入院治療が必要な患者さんの中でもとくに呼吸・循環(心臓)・意識・腎臓といった体の重要な機能に、命にかかわる問題があり、入念な観察・治療が必要な患者さんが利用します。いわば、病院のなかの病院、高度な医療の最後の砦です。当院のICUを利用する患者さんの多くは大きな手術を受ける方で、手術のあとにICUへ入室し、体の状態が安定するまでICUで治療を受けます。また、一般病棟に入院して治療を受けている間に、病気が進行したり合併症が起きたりして重症となった患者さんや、救急車で受診した重症な患者さんもICUへ入室して集中治療を受けます。

ICUは中央棟の5階に位置しており、20床の重症患者さん用のベッドが配置されています。ICUのベッドには、患者さんの体の状態を頻回かつ持続的に観察するためのモニターや、呼吸を助けるための人工呼吸器が備えつけられています。新型コロナウイルス感染症で一躍有名になった体外式膜型人工肺 (ECMO、

エクモ) の機械や、腎臓の機能が低下したときに必要となる持続血液透析装置も常備しています。

これらの設備を用いて患者さんの診療にあたるのは、医師(集中治療専門医6名を含む12名)、看護師(認定・専門看護師2名を含む56名)、薬剤師(3名)、臨床工学技士(4名)からなるICUチームです。それぞれの患

者さんのゴールに向けて、適切なタイミングで必要な医療を提供できるように、専属のスタッフが24時間体制で重症な患者さんの診療にあたっています。

身体にたくさんの異常が同時に起き、いろいろな薬や医療機器のサポートが必要になっている患者さんにどのような治療を行っていくかを決めるために、ICUチームは毎朝カンファレンスを行っています。このカンファレンスには手術をした外科医や病棟で治療にあたった内科医も参加し、それまでの治療の流れを踏まえてICUでどのような治療を行うかを考えます。そして、カンファレンスで医療者が最善と考えた選択肢が、患者さんの希望・価値観に合っているかどうか患者さんとお話しします。ICUを必要とする患者さんは、意識の状態が悪いなど患者さん本人が希望を伝えることができないことも多いため、患者さんに代わってご家族に本人の希望を推しはかっていただくこともあります。

世界では、集中治療という医学の領域においてもさかんに研究が行われています。当院のICUも大学病院の使命として、集中治療医学の進歩につなげるべく医学研究を行っています。ICUで治療を受けた患者さんの経過を分析したり、国内外の多くの施設とともに大規模な研究を行ったりすることで、よりよい集中治療を提供し、患者さんをサポートできるように成長し続けようと考えています。



24時間体制でいつでも必要なケアを行います



ベッドにはモニターと人工呼吸器が設置されています

診療科別 医師紹介

集中治療部

専門 集中治療、臨床研究

診療部長
ふじい ともこ
藤井 智子

出身大学(卒年) 東京大学
(2007年卒)

出身地 東京都
趣味 旅行
好きな言葉 感謝



大きな手術や重い病気のときに、集中治療室でサポートさせていただきます。

専門 集中治療全般

診療副部長
さいとう けいた
齋藤 敬太

出身大学(卒年) 東京慈恵会医科大学
(2001年卒)

出身地 大阪
趣味 阪神タイガースの応援
好きな言葉 温故知新



ICUチームで患者様の回復を全力でサポートさせていただきます。

専門 集中治療、麻酔

診療医員
えんどう あらた
遠藤 新大

出身大学(卒年) 東京慈恵会医科大学
(2003年卒)

出身地 神奈川県
趣味 テニス
好きな言葉 平常心



患者さんが1日でも早く回復できるようにICU全体が一つのチームとなって一丸でサポートしていきます。

専門 集中治療

診療医員
さいとう しんじろう
齋藤 慎二郎

出身大学(卒年) 東京慈恵会医科大学
(2005年卒)

出身地 宮城県
趣味 沖釣り
好きな言葉 足るを知る。



患者さんにとって最善の集中治療を提供できるよう日々努力しています。

教えて! 臨床工学部

医療の高度化、専門化を背景に、病院ではさまざまな医療機器が使用されるようになりました。そこで、医師は診療、看護師は看護に専念できるよう、医療機器の専門家として誕生したのが私たち臨床工学技士であります。私たちは医学と工学の知識を持つ「いのちのエンジニア」として、安全な医療機器を提供し患者さんの治療をサポートしています。

次に私たちが管理する医療機器のご紹介と、その機能について簡単にご説明させていただきます。院内で広く使用されている医療機器に輸液ポンプがあります。これは、点滴用のスタンドに装着して、点滴を正しく投与するために使用します。他には、医療ドラマなどで見かける心臓の動きを観察する心電図モニターがあります。また、特殊なものと集中治療室(ICU)などで使用する人工呼吸器や体外式膜型人工肺(ECMO: エクモ)装置、これらは命をつなぐ「生命維持管理装置」と呼ばれ、新型コロナウイルス感染症の報道で名前を聞く機会が増えました。これら医療機器の操作や点検が私達の主な仕事になります。

人工呼吸器、ECMO装置は、呼吸機能を補助または代行して、患者さんの体を休め生命を維持する装置です。これら機器は肺という臓器で体のなかに酸素を取り込み、体の外に二酸化炭素を排出する機能を代行します。新型コロナウイルス感染症の重症者は、この機能が障害されているケースが多いようです。障害の程度に応じて、人工呼吸器やECMO装置を選択して、症状が改善するまで連続して使用します。ここでの操作には小さなミスも許されないため、些細な変化も見逃すことがないよう、24時間体制で管理しています。

私たちは医療機器を介して、医師、看護師、その他医療スタッフと協力しながら、チーム医療の一員となり患者さんの安全・安心の確保に日々努めています。この冊子を手にした方が医療機器を目にしたとき、その先にいる私たち臨床工学技士のことを思い出していただけただけなら大変幸いです。



輸液ポンプ



モニタ 人工呼吸器 ECMO